

第 1 回 あま市自殺対策計画策定委員会会議録要旨

日時 平成 29 年 8 月 3 日 (木)
午後 1 時 30 分～午後 3 時 25 分
場所 あま市甚目寺総合福祉会館 1 階会議室

1 出席者等

出席者等 (委 員) 9 名
(事務局) 8 名
(傍聴者) 1 名

2 市長あいさつ要旨

- 昨年 4 月に「自殺対策基本法」が改正・施行され、各自治体は、自殺対策計画を策定することが義務付けられた。
- あま市自殺対策計画策定委員会は、あま市の自殺対策計画を策定するにあたり、計画の基本的な理念や目標に対する意見の他、自殺対策を充実させていく方策等についてご提案いただくため設置した。
- 今回の計画策定を機に、自殺対策にかかる取組みや課題を整理し、今後の施策の方向性や事業・取組みを明確にすることで、自殺対策を総合的かつ効果的に推進できるようにしていきたいと考えている。

3 委員長及び副委員長の選出

あま市自殺対策計画策定委員会規則第 6 条第 1 項に基づき、委員長には八島進委員が選出された。また、副委員長には委員長により富田悦充委員が指名された。

4 議事

- (1) 自殺対策計画策定が求められる背景について
- (2) あま市の自殺に係るデータについて
- (3) その他

議題（１）【自殺対策計画策定が求められる背景について】

（事務局説明要旨）

【資料１】に基づき、「自殺対策計画策定が求められる背景について」、以下のポイントを説明。

○平成２８年４月に、「自殺対策基本法」の一部が改正・施行され、県及び市町村にも自殺対策の計画づくりが義務化された。（法第１３条第２項）

【資料２】

○自殺総合対策大綱は、自殺対策基本法に基づき、政府が推進すべき自殺対策の指針として定められたものであり、今夏に見直しがされた。

【資料３】【資料４】

○昨年度策定した「第２次あま市健康づくり計画」においても、こころの健康に関する内容が含まれている。今年度策定する「自殺対策計画」と「健康づくり計画（こころの健康づくり）」は、基本理念・方向性、取り組みなど一体化することが望ましい内容が含まれている。【資料５】

○計画策定は、自殺死亡率の低減を目指すものであるが、単に自殺死亡率の低減を図るということだけではなく、市民の自殺防止に対する意識を高め、さらにリスクがある人をケアする・相談できる体制づくりを強化できるような計画を策定することを目指す。

○計画策定には、委員会の他、庁内作業部会、パブリックコメント、団体ヒアリングなどを通して、市民の声、地域の実情を反映させていきたい。

○委員会は、年５回ほど開催し、今年度中の計画策定を目指す。【資料６】

（主な意見等）

○自殺対策の取り組みについては、非常に複雑で、また国の示す大綱は広

範囲に及んでいるため、項目・セクションに分け、ポイントを絞って議論し、あま市の実情にあわせた計画を策定していくことが重要であると考えるがいかがか。

⇒ご指摘のとおりであり、国も地域の実情に応じた計画を策定することが重要であるとしている。

今後の委員会においても、できるだけ項目・セクションに分け、ポイントを整理し、議論いただけるように努めたい。また、計画は、あま市の実情に応じた計画となるようにしていきたいと考えている。

議題（２）【あま市の自殺に係るデータについて】

（事務局説明要旨）

- 【資料７】に基づき、「あま市の概況」及び「あま市の自殺統計データ」に分け、以下のポイントを説明。

＜あま市の概況＞

- 1 全国的な傾向と同様、老年人口の割合が高く、４人に１人が６５歳以上の高齢者となっている。
- 2 世帯構成では、単独世帯が増えており、６５歳以上の単独世帯は約２割である。
- 3 生活保護の被保護世帯は、ここ５年間、５００世帯台で推移している。

＜あま市の自殺統計データ＞

- 1 【自殺者数・年齢別】自殺者数及び自殺死亡率（人口１０万人対）
あま市の自殺者数（Ｈ２３～Ｈ２８）は平均年１２．８人、自殺死亡率は１４．６となっている。全国及び愛知県平均と比べ大きなかい離はない。
- 2 【年齢別】
３０歳代・４０歳代が多く、次いで６０歳代・７０歳代の割合が高い。
２０歳から５９歳までの働き盛りの年代が６割強となっている。

- 3 【同居人】
男性は、女性と比べると、同居人なしの割合が高い。
- 4 【職業別】
男性は被雇用者の方が多く、女性は主婦が多い。
- 5 【原因】
健康問題が圧倒的に多い。
※健康問題には、うつ病等の精神疾患も含まれている。
- 6 【場所】
全体として自宅等が増加傾向にあり、女性が自宅での自殺企図割合が高い。
- 7 【手段】
首つりが多く、愛知県・全国平均、男女別でも傾向に大きな差は見られない。
- 8 【曜日】
土曜日・日曜日・月曜日が多い。
- 9 【時間帯】
全体としては、深夜・明け方・正午から夕方までが多い。
- 10 【未遂歴】
女性の再企図割合が高い。

(主な意見等)

○6月に津島保健所で開催された「平成29年度精神保健福祉推進協議会」で配付された、海部地域の自殺に関する資料では、女性の木曜日の自殺が多いというデータがあった。

あま市と状況が違うようであるが、何か考えられる要因はあるか？

⇒海部地域の自治体間でも、年齢構成・就業人口、地域特性などが異なっており、それらが要因となっていることも想定される。

要因が明確にならないかもしれないが、確認をさせていただき、要因がわかれば後日報告させていただきたい。